

大東亜戦争とアジアの独立

アジアの解放をかかげた日本は敗れましたが、
アジアは植民地から解放され、独立を達成しました。

●独立への希望と犠牲

だいとう あせんそう
大東亜戦争で日本は独自の経済圏を目指しました。
このため戦争が始まると、石油などの資源を得るため、
東南アジアに軍を進めました。当時アジアの国々はイ
ギリス、オランダ、フランス、アメリカなど欧米諸国
の植民地にされ、苦しんでいました。そのため戦争初
期の日本軍のめざましい勝利は、アジアの人々に独立
への希望を抱かせました。

しかし、日本軍が進軍した東南アジアでは激しい戦
闘が行われ、現地の人々に多大な犠牲を強いることにも
なりました。とくにアメリカの統治下にあったフィ
リピンでは日本軍とアメリカ軍との激戦となり、その
戦闘に巻き込まれ、多くの人が命を落としました。

●インドの独立と日本軍

長年にわたってイギリスの植民地となっていたイン
ドでは、ガンジーらを指導者として独立運動がおこっ
ていました。指導者の一人、チャンドラ・ボースは、
自前の軍隊をもった独立政府を樹立しなければならない
と考えていました。そのボースに手を貸したのは日
本軍でした。

1942（昭和17）年、日本軍はシンガポールのイギ
リス軍根拠地を奪取しましたが、そのとき、多数のイン
ド人がイギリス軍兵士として捕虜となりました。日
本軍は約1万3千人のインド人兵士を普通の捕虜扱い



チャンドラ・ボースとインド国民軍
(1993年発行のインドの切手より)

にせず、説得した結果、インド人兵士は独立のために
戦うインド国民軍に加わりました。

1943年には、シンガポールでボースを首班とする
自由インド仮政府ができました。翌年、インド国民軍
は「チャロ・デリー（行け、デリーへ）」と叫びながら、
日本軍といっしょに、自国インドへと進撃を開始しま
した。しかし、日本がアメリカやイギリスに対し、し
だいに劣勢に立たされたこともあって、進撃は成功し
ませんでした。

戦争が終わった後、イギリスはインドの植民地支配
を続けるため、独立運動を指導した人たちを反逆者と
して裁判にかけようとした。しかし、これを機に
インドの人たちはいっせいに立ち上がり、独立を叫び
ました。そして1947年、ついに独立をはたしました。

◎「17-8-05」とスディルマン将軍像



日本の防衛省の敷地に立つスディルマン将軍像

インドネシアの首都ジャカルタの中心には「ムルデカ（独立）広場」があります。そこには初代大統領となった独立運動の指導者スカルノと、その盟友ハッタの銅像が立っていますが、2つの銅像の間にはさまれて大きな碑が立っており、そこには独

立宣言文が刻まれています。そして、その日付けは「17-8-

05」となっているのです。これはどういう意味でしょうか。

「17-8」は8月17日のことだとすぐにわかります。

インドネシアはこの日に独立したからです。では、そのあとの「05」とはいかなる意味でしょうか。これは当然、独立の年をかいてあるはずなのですが、「05」は実は日本の皇紀2605年の下2ケタの数字をあらわしています。西暦の1945年を使わず、独立の機縁となった日本にちなんで、独立記念日を日本の皇紀で表現したのです。

時は経って2011年のことです。一体の軍人の銅像がインドネシア国防省から日本の防衛省に贈られてきました。それはインドネシアの国民的英雄で、独立戦争をたたかったPETA（郷土防衛義勇軍）の最高司令官スディルマン将軍の銅像でした。スディルマン将軍は豊かな家庭に養子に出され、真面目で敬虔なイスラム教徒として成長し、小学校の校長になりました。しかし、独立戦争が始まると、選挙で最高司令官に選ばれました。独立戦争では残留日本兵もともに戦いました。インドネシアは今でも独立が日本の戦いを機縁として実現したことに感謝の心を持っているのです。

◎アジアの目で見た大東亜戦争

戦争中の1943（昭和18）年、東京で開かれた大東亜会議に出席したミャンマーのバー・モウ初代首相は著書『ビルマの夜明け』にこう書いています。

「歴史を見るならば、日本ほどアジアを白人支配から離脱させることに貢献した国はない。しかし、日本ほど誤解を受けている国もない。もし日本が独断とうぬぼれを避け、開戦当時の一念を忘れなければと、日本のために惜しまれる」。

さらにバー・モウは日本軍の資源の収奪や横暴さに批判を加えながらも、日本の植民地解放の功績をたたえました。

タイのククリット・プラモード元首相は「12月8日」と題して、次のように大東亜戦争を回想しています。

「日本のおかげで、アジア諸国はすべて独立した。日本というお母さんは難産して母体をそこなったが、生まれた子供はすくすく育っている。12月8日はお母さんが一身を賭して重大決心をされた日である。さらに8月15日は、我々の大切なお母さんが病に伏した日である。この2つの日を忘れてはならない」

独立年	国名	旧宗主国
1946年	フィリピン	アメリカ
1947年	インド	イギリス
1948年	ビルマ（ミャンマー）	イギリス
1949年	インドネシア	オランダ
1953年	ラオス	フランス
1953年	カンボジア	フランス
1954年	ベトナム	フランス
1957年	マレーシア	イギリス
1965年	シンガポール	イギリス

アジア諸国の欧米からの独立 これらの中には日本統治下で一度独立しましたが、戦後取り消されたものもあります。